

臨海実験所共同利用にあたっての注意点並びにコロナ感染対応策

2019年度から現在において世界中でパンデミックとして問題を引き起こしている新型コロナウイルスの感染予防に鑑みて、共同利用・共同研究や教育関係共同利用（実習）等で臨海実験所を利用しようとする学内外の利用者の皆様（以下、**利用者**）には、以下のようなガイドラインを遵守していただくことといたしました。また、実施時の感染状況によっては、実施を見合わせていただくこともありますので、予めご了承ください。

◆事前に

●利用者全体

- 利用を希望する場合は、この「**コロナ感染対応策**」の文書を熟読した上で、遅くとも2週間以上前までには臨海実験所に利用申請書を提出すると共に、十分な打合せを行うこと。
- 利用申請書には、必ず**コロナ感染予防策**を具体的に記載すると共に、万が一利用開始の1週間程度前までに感染状況などが大きく変化した場合の**対応策**（中止案・代替案など）についても記載しておくこと。
- 目標をもって**必要最低限の利用**とし、施設内における**飲酒は厳禁**。節度を持って利用すること。
- 利用者は、遅くとも2週間前から可能な限りCOCOAをインストールし、利用開始時および利用中に陽性者との接触がないことを確認する。
- 利用者は、利用の2週間前からCOCOAとは別に自分の行動ログを作成するのに加え、毎朝検温を行い、体調と共に記録しておく（参考資料：「**体調管理表**」「**行動記録表**」）。
- 行動ログは、スマートフォンやノートパソコンなどに保存しておくか紙で打ち出すなどして、万が一隔離された場合でも臨海実験所に提出可能にしておくこと。
- 利用日の直前や当日に体調がすぐれないときは、無理をして来所せず利用を中止もしくは利用日を変更すること。
- 利用者は、3密を避け必ずマスク（各自持参）を常時着用すること。
- 利用者が入構する際には必ず研究棟の事務室小窓から声をかけ、ロビーにて検温と手指消毒を行い入構記録簿に必要事項を記録する。（大人数の場合は、代表者が行う）
- まめに手洗いまたは手指消毒を行い、**一般的に守るべき新型コロナ感染予防対策を徹底して行うこと。**

●教育関係共同利用（実習）等に関して

- 実習利用の場合には、**実習担当教員全員**（以下、**引率スタッフ**）が、遅くとも**利用開始の1週間前までには、臨海実験所の教員もしくは職員**（以下、**三崎スタッフ**）と**日程調整**をした上で、**利用上の注意**について、Zoomによる打合せを行うこと。
- 教育棟実習室の最大利用人数は、学生18名（4人掛け机を1名で使用）+引率教員+TAです（全員合計で上限23名）。ただし引率教員およびTAの利用できる机は上限4台です。※宿泊を伴う実習を希望する場合は、「**宿泊について**」を参照すること。

- 実習利用の際は、体調不良者が出た場合の対応策を申請書に記載すること。実習中の体調不良や、保健所等からの濃厚接触者通知およびCOCOAからの陽性者接触通知がきた場合、37.5度以上の発熱があった場合の対応を、学生保護者に確認しておくこと。(参考資料：同意書・フロー図)
- 実習に参加する引率スタッフ・TA・学生等は、実習実施直前に新型コロナウイルスの抗原定量検査もしくはPCR検査を受ける事を強く希望する。また、その際、利用者全員の検査が陰性である事を確認すること。

◆施設利用中

●利用者全体

- 各部屋を利用中は常時換気する。教育棟には各部屋にロスナイ(換気装置)がついている。エアコンのON/OFF関係なく、ロスナイを常時ONにして利用すること。これ以外にも、窓を開けての換気を毎時2回以上(30分に一回以上、数分間程度、窓を全開する)実施すること。研究棟は三崎スタッフの指示に従うこと。
- 利用者同士が密にならないように気をつけること。
- 各部屋への飲料のみ持ち込み可とするが、飲料を飲む場合**マスクを外しての歓談は厳禁**とする。
- 体調不良者が出た際には、三崎スタッフに連絡すること。
- COCOAから陽性者との接触通知がきた時、また保健所からの濃厚接触者連絡が来た際には、三崎スタッフに連絡すること。

●教育関係共同利用(実習)等に関して

- 教育棟での部屋および出入り口等の使用について
 - 実習室利用者は、実習室裏手の外ドアを利用して出入りする。
 - トイレは外通路を使い、エントランス裏扉から入って教育棟1階男・女用トイレのみを使用する。
 - 利用者の朝・昼・夕食は、教育棟2階の大会議室を用いる。大会議室へは、外階段を使って2階に上がり、大会議室の外扉から出入りする。(2階廊下への扉を使用しないこと)
- 実習室では、机は一人一台を使用し対面にならないように座ること。
- 共用の図鑑や書籍を見る場合は、使用の前後に手をアルコール消毒(もしくは手洗い)すること。
- 生物の説明をする際、一カ所に集まって密にならないようにすること。
- 採集室との打合せの際は、引率スタッフ代表者のみエントランス裏扉から採集職員室へ向かい、対応する。
- 顕微鏡利用について
 - 顕微鏡の出し入れ時のみ実習室2の内扉を使用してもよい。
 - 使用した顕微鏡は消毒して戻すこと。
- 臨海丸乗船について
 - 乗船の定員は、乗員(三崎スタッフ)以外に1回10名までとする。
 - 船酔いをすることが確実、もしくは体調に不安がある学生は乗船を避ける。
 - 乗船者には全員エチケット袋を用意し、酔い止めも飲むこと。

◆オンライン配信

- オンライン配信は可能。詳細については必ず事前に三崎スタッフに問い合わせをし、十分に打合せを行うこと。

◆宿泊について

●利用者全体

- 原則日帰り利用とする。
- やむを得ず宿泊を伴う場合は、できるだけ所外の宿泊施設を利用し、その場合でも感染の予防には十分に注意すること。
- 所内宿泊施設を強く希望する場合は実験所に相談する。
 - 宿泊人数の上限：全室一室一名利用とし、宿泊棟13名、教育棟研究室4名まで。
 - ※ 宿泊棟特別室は、利用者等に感染が疑われた場合の隔離施設としているため利用不可。バリアフリー対応が必要な場合は、別途相談。

●教育関係共同利用（実習）等に関して

- 実習利用の宿泊人数の上限は、宿泊棟13名までとし、教育棟研究室は利用不可。
- 学生のための宿泊は不可とする。
- 部屋は一人一室での利用とし、利用者同士で部屋を行き来しないこと。
- 滞在中の部屋の換気は必要ないが、退室前には数分間窓を開けて換気すること。
- トイレには、除菌クリーナーや除菌用アルコールが用意されているので、これらを用いて使用前後の消毒を心がけること。使用後の手洗いは必須。使用済み衛生用品は各自で持ち帰ること。
- シャワー・風呂の使い方。
 - シャワー室では原則としてシャワーのみを利用することになっている。
 - シャンプー・ボディソープ等は、各自が用意すること。
 - シャワー台は、(連泊等の場合)同じシャワー台を使用する。
- 洗濯機・乾燥機は、極力使用しないこと。使用の必要がある場合は、塩素系漂白剤を利用し、一人一日一回の使用とする。使用者は使用簿に記録する。

◆食事について

●利用者全体

- 施設としての食事の提供はないが、利用者が食事をする場合は、各自個別のテイクアウトの食事を用意した上で教育棟2階大会議室を食事の場所として使用できる。
 - 利用の際には、必ずロスナイ(換気装置)を使用する。
 - 机は、一人一台の利用を守ること(大会議室は広い面積が確保されている)。
 - **マスクを外している際の食事中的の会話は厳禁とし、会話の必要がある場合は、双方が食事を中断してマスクを付けた状態で行うこと。**
- 大会議室の机を移動させないこと。
- 食事の後は掃除と消毒を徹底する。

◆ゴミについて

●利用者全体

- 原則として、すべてのゴミは利用者各自が持ち帰ること。
 - 鼻をかんだティッシュペーパーなど、排出者が感染していた場合に病原体が含まれるゴミは各自で袋に入れて密閉し、汚れ物が入った袋は各自が持ち帰ること。
 - 実習等で持ち帰れない量のゴミが出る場合、事前に三崎スタッフと相談すること。

● 教育関係共同利用（実習）等に関して

- 三崎スタッフと相談の上、実験所にてゴミの廃棄をすることとなった場合、実験所のゴミ分別を守ること。
 - 引率スタッフは、実験所のゴミ分別のルールについて把握し、学生等にデモンストレーションして、分別ルールを徹底すること。
 - 実習室にゴミ箱を用意していないため、ゴミ袋で対応する。
 - 生ゴミは、実習室に用意してある水切り用のザルとバケツを使用し、水気を切った後に新聞紙にくるんで「もえるゴミ」として処理する。
 - 実習で出たゴミには、引率スタッフが「実習ゴミ」とラベルをし、決められた場所に集積すること。

◆ 利用後は

● 利用者全体

- 実験所では専門の清掃業者を入れていないため、各部屋等（実習室、大会議室、宿泊室、トイレ、浴室、廊下等）利用した場所については、一般的な掃除を行ったうえで、高頻度接触部位（ドアノブなど）については、必ず備えつけのアルコールで消毒をすること。
- 利用者は、利用後しばらく（1週間程度）体調に留意する。
 - 利用2週間後までに万が一体調に異常があった場合には、保健所や医療機関に相談するなど、各自の居住地自治体のルールに従うこと。
 - 検査の結果が新型コロナウイルス陽性だった場合、COCOAに登録するとともに速やかに臨海実験所に連絡すること。

● 教育関係共同利用（実習）等に関して

- 実習後は必ず引率スタッフが責任を持って、宿泊した部屋や実習で使用した部屋、道具の掃除と片付けの管理をする。
 - チェックリストに従い確認する。
 - 退所前に必ず三崎スタッフとともに再度確認する。

◆ 実験所で感染予防のために用意してあるもの

- 非接触体温計 ○ ハンドソープ
- アルコール除菌剤 ※ただし利用期間が長い場合は各自で用意する。
- 吐瀉物処理用防護服等一式

◆ 長期利用で用意しておくといもの

● 利用者全体

- 交換用のマスク ○ シャンプー・ボディソープなど ○ ゴミ袋
- 腋窩体温計

● 教育関係共同利用（実習）等に関して

- 食器用洗剤・スポンジ ○ エチケット袋（臨海丸乗船時用） など

参考資料

- ・ 実習参加確認書・同意書
- ・ 体調管理表
- ・ 新型コロナウイルス感染症対策（体調不良者対応等）フロー図
- ・ 行動記録表（様式自由）

東京大学三崎臨海実験所における実習の参加確認・同意書（例）

新型コロナウイルス感染症流行に伴いまして、実験所施設を利用するにあたり、以下の内容を確認し、当てはまる項目にチェック☑を入れ、必要事項の入力をお願いいたします。

記入日付 年 月 日

- 参加希望の確認
 - 臨海実習（宿泊有、対面）に参加を希望します。
 - オンラインでの参加を希望します。

- 宿泊を伴う対面実習参加希望の方
 - 以下の項目について同意します（同意のできない方はオンラインでの参加となります）。
 - ◆ 自身で宿泊を伴う対面の実習参加について家族（父母等）に連絡し、家族からの参加の許可を確認済みである。
 - ◆ COCOA アプリを実習 2 週間前までには導入してあり、陽性者との接触がないことを確認済みである。
 - ◆ 実習 2 週間前より実習期間終了まで行動ログを記録し、必要となった際には、行動ログを提出する。
 - ◆ 実習中は毎朝、各自持参した体温計で検温を行う。
 - ◆ 実習中は毎朝、東京大学新型コロナウイルス感染症健康管理フォームより、報告を行う➡「メール送信先」は実習担当教員の XXXXX(XXX@XXXXXXXXXX)にする。
 - ◆ 実習中は実習開始の際にも非接触型体温計による検温を行い、37.5 度以上の発熱のある場合には実習への参加を見合わせる。
 - ◆ 陽性者との接触が確認された際や、発熱や体調不良時には、実験所より家族への連絡を行う。

- 緊急時のご家族への連絡について
 - COCOA アプリ等で陽性者との接触が確認されたり、発熱や体調不良となったりした時には、保健所との相談の上、必要と判断されれば、神奈川県三浦市の臨海実験所まで家族が迎えに来ることができます。
 - COCOA アプリ等で陽性者との接触が確認された場合や、発熱や体調不良の場合、家族の住居が遠方で迎えに来るくることができない場合の対応は、臨海実験所に一任します。

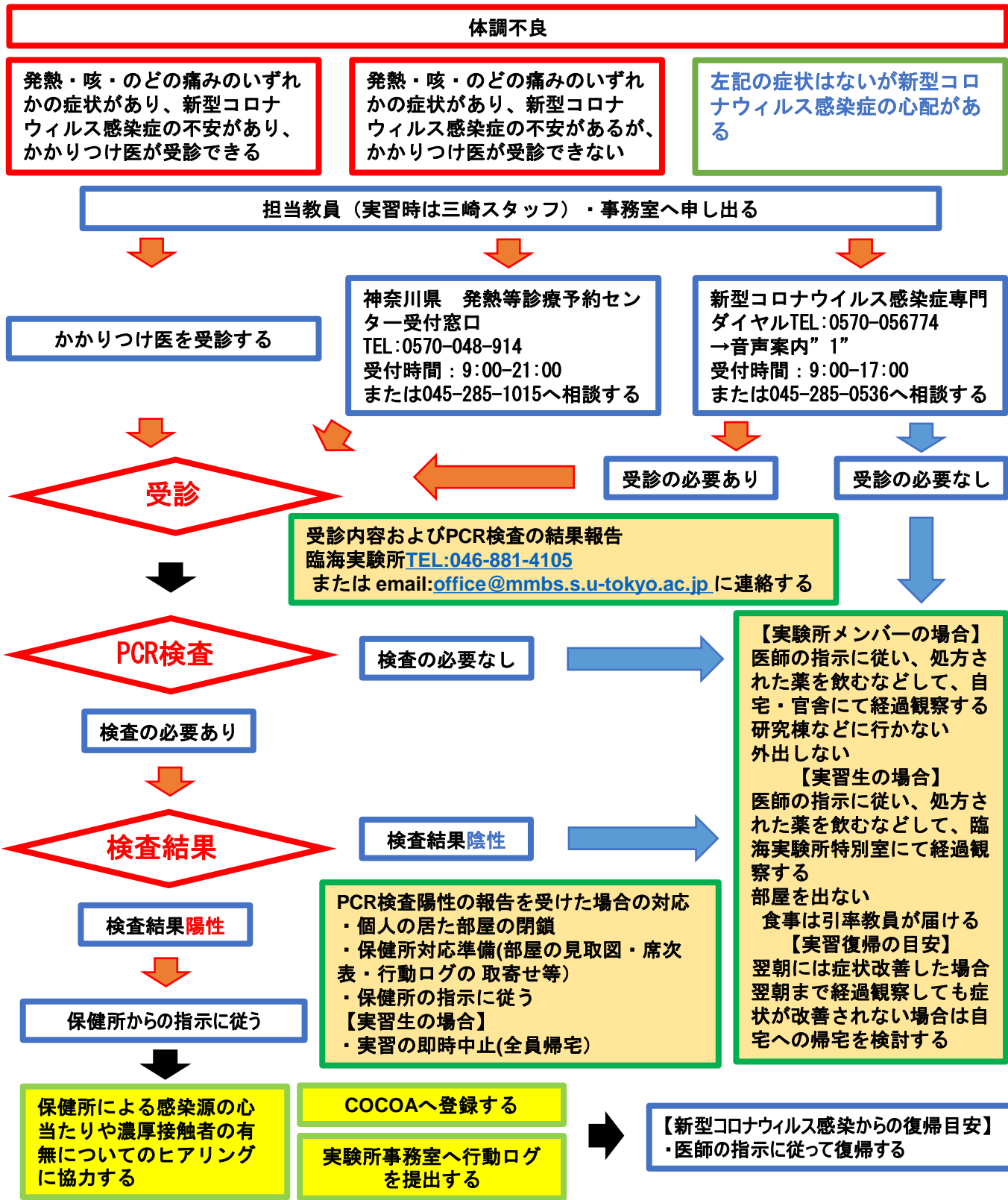
※宿泊を伴う実習参加の際のご家族の緊急連絡先

 - ・氏名
 - ・電話番号

- その他、実験所への対応で、特に希望すること。（自由記載）

- 本人の連絡先
 - ・氏名
 - ・連絡先メールアドレス

三崎臨海実験所新型コロナウイルス感染症対策（体調不良者対応等）フロー図



【濃厚接触者】

新型コロナウイルスに感染していることが確認された方と近距離で接触、あるいは長時間接触し、感染の可能性が相対的に高くなっている者

【濃厚接触かどうかの判断】

濃厚接触かどうかを判断する上で重要な要素は上述のとおり、1. 距離の近さと2. 時間の長さ。必要な感染予防策をせずに手で触れること、または対面で互いに手を伸ばしたら届く距離（1m程度以内）で15分以上接触があった場合に濃厚接触者と考えられる。新型コロナウイルス感染者から、ウイルスがうつる可能性がある期間（発症2日前から入院等をした日まで）に接触のあった方々について、関係性、接触の程度などについて、保健所が調査（積極的疫学調査）を行い、個別に濃厚接触者に該当するかどうかを判断する。なお、15分間、感染者と至近距離にいたとしても、マスクの有無、会話や歌唱など発声を伴う行動や対面での接触の有無など、「3密」の状況などにより、感染の可能性は大きく異なる。最終的に濃厚接触者にあたるかどうかは、このような具体的な状況で判断している。濃厚接触者と判断された場合は、保健所の指示に従うこと。濃厚接触者は、感染している可能性があることから、感染した方と接触した後14日間は、健康状態に注意を払い（健康観察）、不要不急の外出は控えること。※厚生労働省ホームページ(https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryoku/dengue_fever_qa_00001.html)より

